

高山市教育大綱に関する実践紹介

— 高山市立朝日中学校の平和教育 —

1 実践の概要（願い）

- ・ 平和学習を目的とした広島研修を日常学習に活かし、また、ユネスコスクールに加盟したことを機に、世界とつながっている実感のある活動を試みたいと考え、自分達にできる平和活動「折り鶴プロジェクト」に参加した。
 - ・ 折り鶴プロジェクトの中心メンバーである佐々木祐滋さんとの出会いは、世界の最前線との出会いであると考え講演会を企画した。
- * 佐々木祐滋さんは、広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの甥で、「折り鶴プロジェクト」をユネスコスクールに呼びかけた提案者。

2 実践の特色（成果）

- ・ 中学校や朝日地域での活動から、地域外・世界へと範囲が広がった。
- ・ 朝日中学校の呼び掛けにより、協働する学校や人がうまれた。

3 実践概要

〈平成29年〉

- 3月 : 第2学年時において、平和学習を開始
- 5月 : 第3学年時において、広島への学習旅行を実施
- 6月 : ユネスコスクールHPで兵庫県の高校が呼びかけている「折り鶴プロジェクト」を知り、協力を決定
- 6月中旬 : 市内小中学校ウェブ会議にて「折り鶴プロジェクト」の協力を依頼
: 地域（小学校、中学校）、保護者の勤務先等へ折鶴の作成を依頼
- 8月2日 : 第3学年、高山市平和都市宣言記念式典に参加
6日 : 佐々木祐滋さんが米ユタ州の空軍跡地にある博物館に折鶴を寄贈
- 11月6日 : 佐々木祐滋さんを招き、朝日中学校において講演を開催
- 12月 : 「折り鶴プロジェクト」第2弾に参加

4 高山市教育大綱とのかかわり

大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点

- ⑩「グローバル化や情報化など新しい時代に対応できる子どもたちを育てること」